

歩いて！知って！感じて！今昔八王子！

～歴史と文学からアプローチ～

団体名 創価大学文学部インターゼミ桑都プロジェクト
代表者名 塩崎 由佳

① 事業内容

本事業では、昨年度に実施した「シュリーマン生誕200周年～シュリーマンの見た“桑都”八王子の魅力を発掘～」の成果を踏まえ、街歩きを通じての八王子の歴史・文学的な魅力と八王子駅周辺の書店文化の豊かさをさらに発信すべく、主に次の4つの活動を展開しました（これから実施するものも含まれます）。

1. 歌の詠み歩き企画、およびマルベリーブリッジでの七夕まつりの幕や飾りの設置。
2. 八王子古本まつりにおける教授・学生からの寄付本等の販売。
3. 『シュリーマンと八王子——「シルクのまち」に魅せられて』（第三文明社）発刊記念トークイベント。
4. 有隣堂セレオ八王子店での学生選書コーナー設置。
5. 八王子「八書店」スタンプラリー。

② 実施報告

1. 桑の都の吟行会（2022年5月27日）

八王子横山本宿（現在の横山町）出身の女流俳諧師・榎本星布の足跡と八王子の歴史を辿る吟行会を、創価大学俳句会との共催で実施しました。榎本星布は八王子横山本宿（現在の横山町）出身の女性俳人で、天明8年（1788）に芭蕉の流れをくむ「松原庵」を継承し、松原庵二世を称した人物です。「竹の花公園（竹の花一里塚）」（新町）には、星布建立の芭蕉顕彰碑が今も残り、大義寺（元横山町）には墓所があります。

当日は、①八王子駅北口マルベリーブリッジ、②大義寺、③竹の花一里塚（新町）、④子安神社（明神町）を1時間ほどかけて歩き、その後「連句会」を行いました。「連句」とは、二人以上の連衆で五七五の長句と七七の短句を交互に付け連ねていく文芸のことで、「俳句」の先祖にあた



ります。例えば、榎本星布の俳句「星のつどい 時またなくに 明けにけり」（長句）には「月に見立てる 都まんじゅう」という短句を付け連ねたりしました。そしてこのとき詠んだ句をマルベリーブリッジの七夕祭りで短冊に書き、七夕飾りとしました。



2. 八王子古本まつりでの寄付本の販売

10月7・8日の2日間、八王子駅北口西放射線エーロードで開催された古本まつりにて、福祉ブースの一角を借りて本の販売を行いました。7日は雨天のため、お昼ごろ撤収作業を行いました。8日は天候に恵まれ、様々なお客様が来てくださり、合計11冊の本を売ることができました。また、余った本は「商店街の古本チャリティー」ブースに寄付をしました。そこでは、11日にボランティアとして販売を手伝い、地域住民の方や商店街の方との交流を行うことができました。



3. 『シュリーマンと八王子——「シルクのまち」に魅せられて』発刊記念トークイベント（2022年12月18日、於八王子市学園都市センター）

昨年度の「シュリーマン生誕200周年～シュリーマンの見た“桑都”八王子の魅力を発掘～」の成果を書籍化し、その出版イベントを開催しました。学内外の研究者7名が執筆し、評論家の橋本五郎氏



（読売新聞特別編集委員）からは「幕末八王子の姿を見事“発掘”」との推薦の言葉が寄せられました。イ



イベントでは昨年度と今年度の「桑都プロジェクト」の活動内容を紹介したのち、執筆陣によるスピーチが行われました。イベントには八王子市民をはじめ 55 名が参加し、「絹の町八王子の幕末の姿が少しイメージできました。諸先生方の多方面からのアプローチが興味深かったです」、「大学の多い八王子で、学生と地元商店街が連携し、成功した、まれな例が、一冊の本になったことをとても喜ばしく思います」等の感想が寄せられました。

4. 有隣堂セレオ八王子店での学生選書コーナー設置

今回の有隣堂書店の学生選書は、創価大学文学部の西洋史ゼミが担当しました。選書テーマは、「食の歴史と現在」で、KJ 法とマインドマップを簡略的に用いながら作成した候補テーマ 2 つのうちから、最終的に有隣堂書店へのプレゼンテーションをへて決定されました。具体的には、3 名の学生が自身の好きな食べ物である「たこ焼き」、「ラーメン」、「揚げ物」を小テーマに設定し、各テーマについてそれぞれ



の学生が単独で選書作業を行いました。また、これらに共通する食材の「小麦(粉)」、さらには各テーマを繋げる「食」、「食文化」も小テーマに設定し、これらについての選書作業をゼミ全体で行いました。最終的な選書リストは 60 タイトルにのぼり、学術書、一般書、絵本、雑誌、マンガ、辞典までをも射程におさめた多彩で充実したものとなりました。本企画は 2023 年 2 月 16 日にスタート予定で、現在はポスターやポップの作成、配本レイアウトの調整を進めています。

5. 八王子「八書店」スタンプラリー

「八」王子の名称にちなみ、八王子駅周辺にある 8 箇所の書店・古書店(八書店)をめぐるスタンプラリーを企画しました。当初は 12 月までに開催する予定でしたが、諸事情により準備が遅れ、最終的に 3 月 1 日(水)~12 日(日)に実施することになりました。ご協力いただくのは、①くまざわ書店八王子南口店、②有隣堂セレオ八王子店、③くまざわ書店八王子店、④佐藤書房、⑤くまざわ書店京王八王子店、⑥まつおか書房、⑦古書 むしくい堂、⑧まちの駅八王子 CHITOSEYA、の

8 つの書店です。

まず、各書店のスタンプを作成しました。こちらで考案したデザイン案を各書店に確認



していただき、修正を施したうえでスタンプを作成しました。次に、各書店にスタンプ台の設置場所やポップの大きさ、スタンプの色などについて相談にうかがいました。スタンプ台紙の交換場所としては、2022 年 11 月にオープンした「桑都テラス」の一室をお借りすることにしました。

景品については、桑都テラスを運営する HCL 合同会社様にご協力いただき、先着限定の景品として桑都テラスの商品券を提供することにしました。スタンプ 4 つで記念シール(書店スタンプのデザイン)、スタンプ 8 つで桑都テラス商品券(300 円分、平日は先着 5 名、土日は先着 15 名程度)と記念シールと交換する計画です。

今後は、市役所等の公共施設におけるポスター掲示やチラシの設置を進めます。またコラボレーション企画として、昨年度つるや製菓から販売していただいた「シュリーまん」をスタンプラリー実施期間に再販していただくことになっています。このほか、前述の有隣堂学生選書コーナーも同時期に設けられます。これらの企画を連動させることで、300 人の参加者獲得を目指しています。

③事業を実施した感想

今年度は昨年度よりもテーマの幅を広げたことで、新しい挑戦が多くありました。そのため、昨年度に比べて壁にぶつかることが多く、なかなか計画通りに進めることができませんでした。しかし、そこで立ち止まるのではなく、一致団結して粘り強く取り組んだことで、八王子の魅力を更に広めることができたと思います。また、その過程で沢山の地域の方々と交流したことで、普段の学校生活では経験できない貴重な学びを得ることができました。桑都プロジェクトの活動を温かく見守ってくださった全ての方々に感謝申し上げます。現在進行中の企画もあるため、引き続き最後まで八王子の魅力を広め、盛り上げるべく頑張って活動していきます。

